

がくもん  
学問のすゝめ

①

ふくざわゆきち  
福沢諭吉

てん ひと うえ ひと つく ひと した ひと つく  
天は人の上に人を造らず人の下に人を造ら  
ずと言えり。

てん ひと しょう ばんにん ばんにん  
されば天より人を生ずるには、万人は万人

みなおな くらい うま きせんじょうげ さ  
皆同じ位にして、生れながら貴賤上下の差

べつ ばんぶつ れい み ところ はたら  
別なく、万物の霊たる身と心との働きをも

てんち あいだ もの と  
つて天地の間にあるよろずの物を資り、もつ

いしよくじゅう よう た じゅうじがい たが ひと  
て衣食住の用を達し、自由自在、互いに人

さまた おのおのあんらく よ わた  
の妨げをなさずして各々安楽にこの世を渡

たま しゅい  
らしめ給うの趣意なり。

一回読んだら、○をつけよう。

あんしょう  
暗唱できたら、◎をつけよう。

21	16	11	6	1
22	17	12	7	2
23	18	13	8	3
24	19	14	9	4
25	20	15	10	5

がくもん す  
**学問のすゝめ**  
 ②

ふくざわゆきち  
**福沢諭吉**

いま ひろ  
 されども今、広くこの人間世界を見渡すに、

ひと  
 かしこき人あり、おろかなる人あり、貧しき

と  
 もあり、富めるもあり、貴人もあり、下人もあ

ありさまくも だろ  
 りて、その有様雲と泥との相違あるに似たる

なん  
 は何ぞや。

しだいはなは あき  
 その次第甚だ明らかなり。

じつごきよう ひとまな  
 実語教に、人学ばざれば智なし、智なき者は

ぐにん  
 愚人なりとあり。

けんじん ぐにん べつ まな まな  
 されば賢人と愚人との別は、学ぶと学ばざる

よ いでく  
 とに由って出来るものなり。

一回読んだら、○をつけよう。

あんしやう  
 暗唱できたら、◎をつけよう。

21	16	11	6	1
22	17	12	7	2
23	18	13	8	3
24	19	14	9	4
25	20	15	10	5